

安心 上野小学校で租税教室

役場税務課職員による「租税教室」が12月15日に上野小で行われました。これは田川市郡租税教育推進協議会主催の事業で、児童に税の意義や役割を正しく理解してもらうことが目的。授業では「もしも税金が無かったら」を想定したアニメの視聴や一億円持ち上げ体験なども行われ、6年生18人は暮らしに密着した税の重みを学ぶ貴重な時間となったようです。



↑安全、教育、福祉など広く活用されている「税」の説明を真剣に聞く子どもたち。

↓18人の来町を歓迎して対面式で披露された、福智炎蓮太鼓による力強い演舞。



海 沖縄県中城村・福智町交流事業

夏に沖縄を訪問し、冬に福智町が受け入れる児童の相互ホームステイを続けている交流事業。その沖縄県中城村との「交流会」が1月15日から3日間行われました。例年になく暖かい日が続き、お目当ての雪体験が心配されましたが、英彦山では若干の恵みの降雪に遭遇。初めての雪とつららに大興奮の18人は、寒さに負けず福智の児童との温かい交流を楽しみました。

鍛 第16回福智町弓道大会

福智町弓道連盟主催の「第16回福智町弓道大会」が12月13日、福智町弓道場で開かれました。県内外から参加した高校生やベテランの射手など総勢506人は、張りつめた雰囲気の中、深呼吸をしながら精神を集中。的を射抜く快音を響かせ、日頃の成果を競いました。町からは日王弓友会の27人が出場。一般女子の部で佐藤泉さんが第6位の好成績を収めました。



↑29日、先的に集中。一射一射に魂を込め、互いの技術を競い合う弓道家たち。

↓一流トレーナーから多くを学ぼうと、体幹トレーニングに挑戦する野球少年たち。



一流の刺激に触れた次世代のアスリート

福智町人権のまちづくり館で12月13日に今年初めて開催された「次世代アスリート育成講演会」。野球やサッカーなど8種目のスポーツに励む子どもたち約150人が参加し、元プロ野球選手などのアスリートやトップレベルのトレーナーから、成長期に必要なトレーニング法や心得を学びました。参加者たちは一流の育成プログラムに触れ、心も体も一回り大きくなったようです。

↓観閲台に立った点検者の前を整然と分列行進する消防団員。防災への気持ちをより一層引き締めました。



新春 下田川2か町連合消防出初式

新年恒例の「下田川2か町連合消防出初式」が1月10日に糸田町民グラウンドで挙行され、福智町と糸田町あわせて消防団員469人・消防車21台が出動しました。毎年1月上旬に行われる出初め式は、消防関係者の団結力や地域防災力の強化が目的です。式典では大隊長の号令のもと、一糸乱れぬ服装点検や分列行進が披露され、分団ごとに地域の防災を担う強固な消防体制をアピール。肌寒い風が吹く一年の始まりに互いの防災意識を確認し合い、災害に負けないまちづくりを担う一員としての士気を高めていました。

福 西日本シティ銀行との包括協定締結式

福智町は12月21日、地方創生事業に関連して西日本シティ銀行と包括協定を結びました。包括協定は筑豊地区では初めてで、まちの産業振興や創業支援、雇用促進などの分野で協力を受けます。「福智町ならではの緊密な提案をしていきたい」と話す西日本シティ銀行の入江浩幸専務。1月4日から住宅ローンの金利引き下げ策などを行い、定住促進につなげていきます。



↑包括協定を結び、協定書を交換する西日本シティ銀行の入江専務と嶋野勝町長。

↓地域医療や認知症医の経験から、認知症の予防法、治療について講じる輪田氏。



認知症 福智町認知症シンポジウム

12月20日、地域交流センターで認知症シンポジウムが開かれ、地域住民142人が参加しました。認知症サポート医の輪田順一氏が、各段階で適切な対応をとること、地域ネットワークを活用した支援を行うことの重要性などを講話。作業療法士や認知症サポーターなど5人のシンポジストによる意見交換も行われ、参加者は事例に基づき認知症への理解を深めました。